

各地区からこれまでに提出のあった要望書への回答（古江地区）

※要望書内容の記載順序は提出順

要望書内容	回答
<p>1 道路構造は高架構造とすること</p> <p>県下最大の柿原池を背にしており、この堤防が決壊した場合には盛土で堰をすることによって甚大な被害が予想される。</p>	<p>柿原池の堤防が決壊した場合の浸水シミュレーションを行ったところ、2箇所の橋梁（高架構造）延長を適切なものとするにより、新たな浸水被害家屋が生じないことが確認できました。このことから、盛土構造+高架構造でお願いしたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>
<p>2 交差点は立体交差にすること</p> <p>朝晩には通勤車で大変混雑する。地域高規格道路であることから立体交差にすべきである。</p>	<p>推計した将来の自動車交通量を基に交差点設計を行ったところ、大きな渋滞は生じない結果となりました。このことから、平面交差構造でお願いしたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>
<p>3 不整形になるほ場に対して補償すること</p> <p>ほ場を斜めに横断することから十分な補償をすべきである。</p>	<p>補償については、補償基準に沿って適正に行います。具体的には用地調査の後、関係者の皆様に個別に説明します。なお、営農への影響につきましては、今後の設計段階において利用形態に支障が生じないように、地域の皆様のご意見を伺いながら機能回復道路等を検討します。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>

各地区からこれまでに提出のあった要望書への回答（生馬地区）

※要望書内容の記載順序は提出順

要望書内容	回答
<p>1 路線変更（下佐陀交差点～高専）すること</p> <p>家屋移転が予測され、現況並の生活再建が難しいと考えられるため、空地も有する地域ということもあり、路線変更をお願いします。</p> <p>墓地についても先祖から代々受け継いだ墓所を失うことになるため、考慮すべきと考えます。</p>	<p>松江北道路ルート（道路計画）案については、ルートの基本方針に基づき、加えて家屋の移転や地域への影響などを考慮し計画したのですが、やむを得ず家屋や車庫などの移転が生じるものとなっています。</p> <p>家屋移転対象の皆様に対しましては、詳細な測量と設計を行った上で、誠意をもって補償協議にあたらせていただくよう説明を行い、このルート（道路計画）案について前向きな方向で話し合いを進めさせていただいています。</p> <p>墓地につきましては、詳細な測量と設計を行った上で、関係者の皆様に対しまして、誠意をもって補償協議にあたらせていただくよう考えています。</p> <p>つきましては、このルート（道路計画）案でお願いしたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>
<p>2 交通安全対策に最大限の配慮を図ること</p> <p>県道松江鹿島美保関線は、事故の発生となる要因が多い。このことから交通安全施設を充実させる必要がある。</p>	<p>下佐陀乗り降り箇所については、推計した将来の自動車交通量をもとに交差点の検討を行ったところ、大きな渋滞は生じない結果となりました。このことから平面交差構造でお願いしたいと考えています。</p> <p>交通事故、誤進入等への懸念につきましては、交通安全施設の検討を今後の設計段階において予定しており、その際は関係機関や地域の皆様のご意見を伺いながら検討します。</p>
<p>3 家屋移転無しを前提に平面交差を立体交差にすること</p> <p>下佐陀乗り降り箇所に接続する県道松江鹿島美保関線は朝夕の交通量が極めて多く平面交差では渋滞が発生し、交通事故の懸念が高まる。</p> <p>また、平面交差では自転車等の誤進入が懸念される。</p>	<p>なお、ご提案のありました立体交差構造については、道路影響範囲が大きくなり新たな影響家屋が生じます。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>

各地区からこれまでに提出のあった要望書への回答（生馬地区）

※要望書内容の記載順序は提出順

要望書内容		回答
4	農業用道路（ほ場内農道）を新設すること ほ場への通作や資材搬入、農産物の搬出に利用している農道は農業生産のために必要不可欠な道路である。	ほ場の利用形態に支障が生じないように今後の設計段階において、地域の皆様のご意見を伺いながら検討します。 【回答】
5	客尾川 水路変更すること 上流からの土砂堆積ます（大型）設置 現客尾川に蓋をして自転車を許可する歩道にする	松江北道路事業の進捗状況に併せて検討していきます。なお、高専周辺の客尾川につきましては、交通安全対策のため、転落防止のガードパイプの設置を進めていく予定にしています。 【回答（市）】
6	市道西谷高専線（ボックスカルバート部等）の安全対策 歩行が安全に通過できるように歩道の確保と防犯上の理由から照明灯の設置	ボックスカルバート部の交通安全対策につきましては、今後の設計段階において、完成後の管理予定者である松江市や地域の皆様のご意見を伺いながら検討していきます。 【回答】
7	地籍調査を実施すること	松江市では、現在調査中の地区や、事業の効率化につながるという観点から公共事業連携地区を重点的に地籍調査を実施しています。 地籍調査の重要性は認識していますが、限られた予算の中、市内各地の調整を図りながら実施する考えであり、ご当地の地籍調査についても今後検討していきます。 【回答（市）】

各地区からこれまでに提出のあった要望書への回答（生馬地区）

※要望書内容の記載順序は提出順

要望書内容	回答
<p>8 残土処理地としての利用</p>	<p>今後の設計段階において、地域の皆様のご意見を伺いながら検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>
<p>9 関係住民に親切・丁寧な対応に努め、円滑かつ早期な事業推進を図ること</p> <p>要望書に対し、検討状況等を自治会等へ都度説明し、議論を深めながら早期に事業を推進すること。</p> <p>家屋移転予定者には生活設計に悪影響が及ばないよう、きめ細やかな対策を図ること。</p> <p>全地区との公正・平等な対応のもと事業を推進すること。</p>	<p>親切・丁寧な対応に努め、円滑かつ早期な事業推進を図るよう努めます。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>

各地区からこれまでに提出のあった要望書への回答（持田地区）

※要望書内容の記載順序は提出順

要望書内容		回答
1	<p>ルート変更すること 自治会内の家屋について多数が道路計画に影響することにより、地区が分断され更に狭隘化し、集落として成り立たなくなってしまう。</p> <p>ルート検討すること 影響家屋数を低減させる構造変更案を検討され提示を受けましたが、住み慣れた集落に及ぶ影響は甚大であり、更なるルート検討を要望します。</p>	<p>松江北道路のルート（道路計画）案につきましては、ルートの基本方針に基づき、加えて、家屋の移転や地域への影響などを考慮し計画したものです。やむを得ず家屋や車庫などの移転が生じるものとなっています。</p> <p>要望を受けて、家屋等への影響を軽減するよう検討しましたが、了解は得られていない状況であり、今後も引き続き皆様のご意見を伺いながら改善策として何ができるのかについて検討を行い、誠意をもって対応します。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>
2	<p>ルート検討すること 西持田地域6自治会の総意として、ルート案に組み込まないエリアを示し、ルート検討を要望。 (東持田地域6自治会も上記に異存はない)</p>	<p>ご意見をお聞きしながら、何ができるかを検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>

各地区からこれまでに提出のあった要望書への回答（川津地区）

※要望書内容の記載順序は提出順

要望書内容	回答
<p>1 ルート変更すること</p> <p>現ルート案では、走行する自動車により騒音・振動などの影響が予想され、安全で平穏な生活が脅かされるおそれがある。</p>	<p>ご当地はもとより他住宅地からの道路との離隔も考慮した結果、このルート（道路計画）案でお願いしたいと考えています。</p> <p>なお、道路建設に伴う環境影響の懸念につきましては、騒音、振動等の環境影響評価を実施しており、ご当地におきましては定められた基準を下回ると見込んでいます。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>
<p>2 乗り降り箇所位置の変更をすること</p> <p>旧国道431号と県道松江島根線の交差点付近は、ソフトビジネスパークへ出入りする自動車等により、朝夕の通勤時間帯においては渋滞が深刻である。</p> <p>原案の乗り降り箇所位置では、ソフトビジネスパークへ出入りする自動車は、一旦県道松江島根線へ進入しなければならないため、渋滞が発生することが予想される。</p>	<p>乗り降り箇所において、推計した将来の自動車交通量を基に交差点設計を行ったところ、大きな渋滞は生じないことを確認しています。なお、いただいたご意見については、今後の参考とします。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>
<p>3 環境対策に万全を期すこと</p> <p>工事中の環境対策に万全を期すこと。工事中、完成後に騒音等の問題が生じた場合は、適切に対処すること。</p>	<p>工事中の環境対策については万全を期すとともに、工事中及び完成後に騒音等の問題が生じた場合には適切に対処します。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>

各地区からこれまでに提出のあった要望書への回答（川津地区）

※要望書内容の記載順序は提出順

要望書内容	回答
<p>4 現在の交通状況を明らかにすること</p> <p>県道松江島根線並びにソフトビジネスパーク進入口付近の交通量調査を行い、現在の状況を明らかにすること。</p>	<p>県道松江島根線並びにソフトビジネスパーク進入口付近で朝夕のラッシュ時に交通状況を調査しました。その結果、朝方においては県道松江島根線北進方向で1時間あたり約590台の交通、夕方は同線南進方向で1時間あたり約530台の交通があり、そのうち約5割の交通がソフトビジネスパーク方面を目的とした又は経由した交通であることを確認しました。</p> <p style="text-align: right;">【回答】</p>